

## 「真夏の旅行」

2014年08月04日

7月29日（火）から8月3日（日）まで、夫婦で「真夏の旅行」をしてきました。

友人の山本将信牧師の奥様・愛子牧師が病気、入院していると聞き、長野県佐久市の病院に訪ねました。聞いていたより回復している姿を見て、嬉しく、安心しました。言葉の回復のためのリハビリテーションを受ける場に同席する機会を得ました。文章を読み、またニコマ漫画を見て、その絵を説明する訓練で、興味深い初体験でした。再会を約束し、回復を祈ってお別れしました。夜は、山本牧師の手料理で、三人で夕食を楽しみました。学生時代の話から、牧師であることの喜びと苦勞、また友人・知人の消息など、遅くまで楽しく話しました。

翌日、標高二千メートルにある「山本小屋」に宿泊しました。美ヶ原高原が広がる美しい大自然の中にある宿泊所でした。牛が放牧されている高原を一時間ほど登ると360度見渡せる山頂に達し、連なる山々を展望できました。雲が少しかかっており、全ては見えませんでした。壮大な眺めでした。夜中に目覚め、外に出て、空を仰ぐと「満天の星空」でした。あまりにきれいだったので、妻を起こし、二人でしばし、見とれました。子どもの教会の夏季キャンプで山に行った時、今年は星が見えるだろうといつも期待しましたが、残念ながら見る機会に恵まれませんでした。「天の川」を見たのは何年ぶりでしょうか。

シナイ山に行った時、御来光を見るというので、夜中にラクダで登りました。ラクダの上で見た星空の美しさは格別でした。星は大きく、近く、手を伸ばせば取れそうに見えました。美ヶ原高原の「満天の星空」を見ながら、育った田舎で見た星空とシナイ山で見た美しい星を思い出しました。

翌日、群馬県の緑したたる山道をドライブしながら、北軽井沢に別荘を持つN・K姉を訪ねました。木立に囲まれた、真夏でも涼しい別荘で三泊しました。空気はきれいで、近くで取れた野菜や魚をおいしくいただきました。時間のある限り、山道を散策する幸いを満喫しました。「浅間牧場」に行き、草原の清々しく、大きな自然に抱かれた開放感は何とも言えない喜びでした。都会に住んでいると、遠くを見ることはあまりありません。心も近視眼的になるのではないかと思わされました。

夜、近くの「ミュージックホール」で毎年、行われているという「クラシックの夕べ」を聴きに行きました。野外演奏場のような会場で、虫たちも来聴に来ていました。目の前で演奏で、演奏者の激しい気迫と息づかいに感動しました。私は、ブラームスの心を引き裂くような旋律が好きで、今回、それが聴けて大満足でした。

主の日は「軽井沢高原教会」の礼拝に行きました。国際基督教大学名誉教授の大口邦雄先生が「死と生、絶望と希望」と題した説教をされました。現在の日本は、戦争に向かうような状態にあるが、敗戦の苦悩から生まれた憲法を守り、希望につながる国造りを目指しましょうという結論を、感銘を持って聞きました。

異常な暑さに見舞われている時、涼しい旅行を味わえたことは感謝でした。8月は、敗戦を記念する月ですから、平和への思いを新たにしたいと思います。